PRODUCT DESIGN



ENTRANCE プロダクトデザインを学ぶための 基礎的なスキルの習得

入学からの1年間は、基礎演習課題を通し、スケッチドローイング、モックアップ制作、プレゼンテーションスキルなどを学び、自分の考えたこと、 作りたいものを自分の手で牛み出し、人に伝えるための手段を体得していきます。また、マインドセットプログラムを通し、プロダクトデザインの 役割、面白さ、デザイナーとしての心構え、チームワークの大切さを学んでいきます。

ADMISSION TEST / 入学試験 基礎表現力の習得



プロダクトデザイン専攻の入学試験では、専門試験として、色彩構成と鉛筆デッサン、および学科試験 を受験生に課しています。人体デッサンや手とモノとの関係性など、創る行為の基礎となる描写や 観察のスキル、色彩感覚や構成感覚のように、日頃から美しいものを見ることの積み重ねが、必要 なトレーニングとしてプロのデザイナーへと育成していく際に重要になります。

The Product Design course entrance examination tests for subject-specific skills, such as color composition and pencil sketching, and also includes a written test. For aspiring professional designers, constant awareness of the beauty of our surroundings is fundamental, as is continuously honing underlying drawing and observation skills, sketching people, considering the connection between one's hand and an object, as well as sense of color and composition.

MIND SFT PROGRAM $/ 道 \lambda 教育$ プロダクトデザインを学ぶ為の素地を作る



プロダクトデザインやデザイナーに求められる社会的な役割とは何なのか、人を楽しませるというのはどういうコトか、人と協力して物事を進めるとはどんなコト なのかなど、プロダクトデザインを学ぶ上で必要なヒューマンスキルの大切さなどを合宿形式で学びます。

On a residential training course students will learn the importance of social skills in product design. For example, what constitutes the product designer's role in society, how to entertain people and how to progress through collaboration with others.

BASIC PROGRAMS / 基礎演習 造形や色、素材を探り、アイデアを人に伝える



世の中の製品はどのように作られているのかを観察したり、自分の考えたアイデアがどうすればカタチに出来るのか、どうすれば人に伝わるのかを、モックアップ の作り方やプレゼンテーションの基本を学ぶことで、考えてから作って人に伝えるまでの一連の流れを学びます。

Students learn basic skills in presentation, how make mock-ups, how to observe and consider how a product is generally produced, how to develop a product from an initial concept and convey this idea to others. This allows students to acquire an overview of the full process of product design, from the product's conception through to production.

EDUCATION

活動領域に応じた プロフェッショナル育成のための教育 2年次より STUDIO 制による指導に入ります。今後の社会ニーズを見据えた3つの活動領域に分かれ、学生の多様な個性を見極めながら、それぞれ のスタジオの目指すターゲット像を育成するプログラムを段階的に学び、個々の目標に到達するためのステップを歩みます。またスタジオごとに 2年生から4年生までが一つの教室の中で学ぶことにより、知識や技術の伝達効果も含め、学生同士がモチベーションや取り組む姿勢を高め合います。

3 STUDIOS / スタジオ制 それぞれの進路に応じた専門的なプログラムによるスペシャリストの育成

 STUDIO
 今後を担うプロフェッショナルとしてのデザイナー育成

 日本の産業を支えている自動車、エレクトロニクス、住宅設備など、大企業内のインハウスデザイナーとして

 既に多くの卒業生が活躍しています。STUDIO1では、今後も社会との接点を大切に、産業界に止まらず、デザインの

 プロフェッショナルとしての人材育成に主眼を置いたカリキュラムを構築しています。

Many of our graduates occupy full-time design positions in large-scale enterprises in various industries that are fundamental to the Japanese economy –automotive, electronics, home appliances, and others. STUDIO1's curriculum aims to develop professional designers who, apart from industrial applications, also value community outreach.





STUDIO 多様な領域に対応するゼネラリストとしてのデザイナー育成 多様にする社会のニーズに合わせ、幅広いフィールドにむけてデザインを学ぶのが STUDIO2 です。問題そのもの を探し出すことを含んだプログラムによって、自ら応えるペきテーマを探し取り組む推進力を養います。学生個々の 特性をのばし、幅広い領域で活躍できるゼネラリストを育てます。

STUDIO2 curriculum focuses on providing design education in a wide range of fields, in response to the diverse needs of society. On this program, students identify a problem and hone their skills by coming up with a solution that responds to the issue. As a result, students develop their individual abilities and characteristics, learning to function as generalists able to succeed in a variety of fields.





STUDIO クリエイティブで先を切り開くデザイン力のある人材育成 社会がデザインという力の有用性を認めるにつれ、デザインは様々な異分野と融合し領域を拡げていきます。 そうした新たな枠組みにおいても柔軟に対応し、自ら考え、先を切り開くデザイン力のある人材の育成を目指 して、STUDIO3では洞察力と表現力の双方を高めていくプログラムを進めています。

The more society acknowledges the considerable power and utility of design, the more the field of design will fuse with other fields and expand its area of activity. Aimed at training designers who can respond flexibly, think for themselves and produce pioneering designs that open up new horizons, STUDIO3 develops both students' insight and expressive ability.



OVERSEAS PROGRAM / 海外プロジェクト

プロダクトデザイン専攻では、欧米、アジアなどの海外のデザイン系大学 とネットワークを持ち、毎年様々な共同プロジェクトを行います。他言語 でのコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力、多様なデザイン プロセスを習得し、視野の広いインターナショナルな感覚を持った学生 の育成に取り組んでいます。

The Product Design program has links with various design universities across America, Europe and Asia, with a range of collaborative projects held each year. From communication and presentation skills in foreign languages to knowledge of diverse design processes, Product Design students acquire a broad international viewpoint.





MASTER • DOCTOR / 大学院 (修士課程·博士課程)

修士課程では、社会の中におけるモノの効果やデザイナーの役割、また環境 問題やエネルギー問題など高レベルな研究が待ち望まれる社会問題などを 研究し、考察、仮説の構築、検証のプロセスを学び、独自のデザインアプローチ の創出と、異分野同士をつなぐ力であるデザインマネジメント能力を備えた 学生の育成を行います。

The Master's course offers students the opportunity to analyze the effects of products, the designer's role, and to embark on an in-depth examination of societal concerns such as environmental and energy issues. Students acquire knowledge of a series of processes, from consideration of the issues and construction of a hypothesis through to hypothesis verification, on a course aimed at training designers to create an original design approach and build design management skills that can connect different fields.

新しいデザインアプローチの創出と 高レベルな知識の収集・発信





プロフェッショナルの現場と共に 社会に通用するチカラを身につける 産学共同プロジェクトや公開プレゼンテーションでは、普段は接することのない国内外の様々な分野の企業とのコミュニケーションを通し、プロフェッショナルな現場からの実践的な 指導や技術的サポートを受けながら、デザインスキルの向上をはじめ、自己や作品を魅力的に伝える力を養ったり、様々な条件下で求められる社会に通用する高いクオリティと革 新的な提案を生み出し、社会からのフイードバックを受けることで個々の成長につなげていきます。

KEYNOTE DAY / 公開プレゼンテーション プロフェッショナルに向けたプレゼンテーションの場



社内にデザイン部門を抱える様々な企業の方達を招いての公開プレゼンテーションを毎年開催。これまで に取り組んだ課題の成果発表を通し、自己のデザインの考え方や手法、作品の魅力などを伝え、個々に 対する評価やアドバイスを頂くことで、大きな刺激を受ける場となります。

Each year the Product Design department hosts a symposium open to companies with in-house design teams. Designers make presentations covering the effects of their own projects, their design thought processes and production methods, and the strong points of their product, and receive feedback and advice from the professional designers present. The event provides an excellent opportunity for encouraging students and for boosting their motivation.

$\overline{\mathbf{COLLABORATION}}_{\mathbb{Z}^{geptildeltapp}}$ 国内外の企業と連携し、社会に通用する高レベルで革新的なアウトプットの創出



20年以上前からプロダクトデザイン専攻が他に先駆けて導入してきた産学共同研究は、産業界や公的な機関と大学が社会性の高いテーマで共同研究を行い、 その成果を社会に広く発表していくプロジェクトベースの研究です。"相乗効果によってより良いプロジェクトが生まれる"という考えのもと、日本をはじめ、 ドイツやアメリカなどの国際的な企業との共同プロジェクトや、学科を横断するプログラムにも積極的に取り組んでいます。

The university-industry collaboration that this Product Design course embarked on, ahead of other courses, over twenty years ago, provides a project-based research opportunity in which industry, public organizations and universities work together on key social issues and implement the project's results in society. Based on the idea that synergy creates a more effective project, the Product Design department is actively working to create collaborations with Japanese, German and American companies, as well as trans-disciplinary programs.

■ 主な就職先

アクセンチュア	エレコム	カシオ計算機	コクヨ	シャープ	ZOZO テクノロジーズ	DeNA	ニコン	博報堂	富士フイルム	ミズノ	ヤマハ
アシックス	オカムラ	河淳	サイバーエージェント	スズキ	ソニーグループ	デンソー	日産自動車	パナソニック	POLA	三菱鉛筆	ヤマハ発動機
イケア・ジャパン	オリエンタルランド	キヤノン	サントリー	スノーピーク	タカラトミーアーツ	東芝	日本 IBM	日立製作所	ポケモン	三菱自動車工業	LIXIL
いすゞ自動車	オリンパス	京セラ	資生堂	SUBARU	大日本印刷	тото	日本デザインセンター	日野自動車	本田技術研究所	三菱電機	リコー
NEC	花王	コーセー	島津製作所	セイコーエプソン	ダイハツ工業	トヨタ自動車	任天堂	富士通デザイン	マツダ	モンベル	良品計画

WHAT IS PRODUCT DESIGN?

プロダクトデザインとは、人々の生活を支える身の回りのあらゆるモノに関わるデザインを指します。近年、その領域は製品の色や形にとどまらず、人とモノの関係が創り出す、生活・空間・社会など、多くの分野に広がり を見せています。本専攻のプログラムではそれらの変化に対応し、" 手 " で作って考えるベーシックなスキルから、多元的に物事を見て考える力、最新デジタル機器の活用力、国際人としてのコミュニケーション力などといった、 多様なスキルを身につけます。これらはケースメソッドを用いたアクティブラーニングの中で育まれ、未来を担う個件豊かなプロダクトデザイナーの育成を実現しています。

Product design refers to the design involved in the things around us that sustain our lives. In recent years, the field has covered not only product color and shape but additional aspects such as living spaces and society, which hands, to the ability to view things pluralistically, the use of the latest digital equipment, and the communication skills necessary to function as a global citizen. These skills are nurtured, through active learning using the case



生産デザイン学科プロダクトデザイン専攻 学科長 武正秀治

MOTTO | 共育 CROSS - EDUCATION

学生と教師が一つになり目標に向かい成長する場

プロダクトデザイン専攻は、課題制作をはじめ、学外展示会やワークショップなどのプログラムを通じ、 学生同士、また学生と教師が連携しながら、デザインスキル・ヒューマンスキル・プレゼンテーション スキルなど、個々の能力を皆で高め合っていける学科です。

The Product Design course features production assignments, as well as various internal events and external exhibitions and workshops. Students acquire expertise in design, communication and presentation throughout the program, which involves collaboration both with fellow students and with instructors, allowing them to enhance their own skills through these relationships.



FACILITY

学科内の専門設備

あらゆる創造意欲に対応する充実した設備環境

学年間の隔たりを無くしたオープン型の教室をはじめ、最新の3D プリンターや UV プリンターを 備えた3DLAB、世界中から新素材が集まるCMTEL(シムテル)など、学生のあらゆるクリエ イションに対応し、新たな想像力を生み出すための環境が整っています。

The production environment is well equipped to cater to students' every product idea, enabling them to make full use of their imagination and creativity in the production process. In open-plan workspaces that aim to eliminate all divisions between student year groups, state-of-the-art technology, including the latest 3D printers, UV printers and Color, Materials and Trends Exploration Lab (CMTEL), is available, allowing students to apply cutting-edge materials from all over the world.



FACULTY

教授・講師陣

様々なデザインの現場から集まった指導講師陣

本専攻の教授および講師陣は、家電、モビリティ、家具、雑貨、海外企業など、様々なデザインの現場 で活躍をしてきたデザインの専門家、現役のデザイナーによって構成されています。学生の多様な進路 先に応じた的確なコーチングを行い、同時に多様な分野のデザインの考え方を学ぶことができます。

Departmental professors and instructors are design experts who have worked in the fields of home electronics, mobility, furniture, and miscellaneous goods, for international companies, including a number of designers who are still professionally active. Coaching is tailored towards students' future career aims, giving them a grounding in design concepts specific to their target industry.



尾形 達 大橋 由三子 濱田 芳治 武正 秀治 Yoshiharu Hamada Tatsu Ogata Hideji Takemasa

安次富 降

中田 希佳 和田 達也 田中 秀樹 Takashi Ashitomi Kiyoshi Nakata Tatsuya Wada Hideki Tanaka

学生ひとりひとりの感性を引き出すマンツーマン指導

学生ひとりひとりの個性、スキルの度合い、進路希望先などの情報を共有しながら進める指導内容

